



校長室の窓から

《校長だより》

神奈川県立市ケ尾高等学校

校長 増淵 広美

平成 27 年 6 月 4 日

第 2 号

「自主・自律」の精神が宿る ～生徒総会・壮行会・結団式～

5月28日(木)、1学期中間試験最終日の午後、生徒総会、壮行会、体育祭結団式を行いました。体育館への移動から全て生徒が進行します。12時45分に体育館への移動を知らせる生徒による放送が入ると、それまで校長室に聞こえていた生徒たちの明るい声はたとと止まりました。校長室の窓からカーテン越しに昇降口前やポニーの丘に目をやると、先ほどまでバレーボールなどを楽しんでいた生徒たちが一斉に昇降口に向かう姿が目に入りました。その切り替えの早さは見事です。この日に限らず、普段の様々な場面でも市高生の切り替えの早さ、けじめのつけ方は、しっかりして見えても気持ちのよいものです。また、だからこそ「文武両道」たり得るのです。

◆◆生徒総会

まずは、マイクを持った生徒が的確な指示を出し、1年生から3年生まで約1200名の生徒を整列させ、生徒総会成立のための人数が確認され、生徒総会が始まります。この総会で、生徒会役員が交代し、新たな生徒会が発足します。新旧交代にあたり、旧役員を代表して旧会長のあいさつ、そして、新会長をはじめとする新役員のあいさつがありました。旧会長のあいさつでは、1年間協力してくれた皆への感謝の気持ちと1年間の活動への達成感、そして、新たな生徒会への期待が力強く語られました。新会長のあいさつでは、伝統ある市高生徒会を受け継ぐ覚悟とさらなる発展に向けた強い決意が述べられ、続いて新役員も一人ひとりあいさつしました。新旧を問わず、皆、市高が大好きで、市高生であることに誇りを持ち、その市高に貢献したいという熱い思いが生徒会役員の原動力なのだと強く感じました。

続いて、体育祭実行委員長、文化祭実行委員長からそれぞれの行事についての説明とさらに充実した実施に向けての抱負が語られました。今年度の白鷺祭のテーマは『市高最高』白鷺は加速するー。体育祭、文化祭のいずれも新たな風が吹きそうで、とても楽しみです。

◆◆壮行会

書道部と陸上部の壮行会を行いました。

書道部は、7月28日から滋賀県で行われる全国高等学校総合文化祭に、前年度の本県高等学校書道展で最高賞(教育長賞)を受賞した加賀千晴さん(3年)の作品が本県を代表して出展され、加賀さんを含む本校生徒2名が滋賀県での同文化祭に参加し、全国の高校生と交流する予定です。また、陸上部は、女子400mリレーで県大会を6位で通過し、6月19日(金)から山梨県で行われる関東高等学校陸上競技大会に出場します。新生徒会会長からの激励では、「自信は成功の第一秘訣である(エマーソン/アメリカの詩人)」という言葉が選手たちに贈られました。新生徒会長の初仕事が壮行会の激励の言葉というのも希望に満ちていてよいものです。

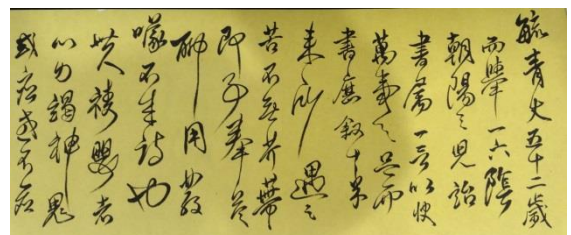
県大会では、陸上部でも他のいくつかの種目で、また、他の部活でも関東大会出場を目前にしたところで涙をのんだ選手が大勢います。関東大会に出場する陸上部の皆さんは、涙をのんだ皆の分も合わせて、これまでの練習の積み重ねを信じ、この市ケ尾高校の代表として、力いっぱい走ってください。そして、4人で最高のバトンをつなぎ、これまで自分たちで作った最高の記録を塗り替えてください。

市高生1200名をはじめ、市高関係者の皆が応援しています。健闘を心から祈っています。

書道部 全国大会出展に至るまで

昨年度の神奈川県高等学校総合文化祭第51回高等学校書道展では、およそ1000点の応募作品の中から20点の特別賞が選ばれましたが、その中の4点が本校の生徒の作品で、団体の部でも、75校中第1位(優勝)という素晴らしい成績を収めました。その特別賞の中でも最高賞の教育長賞に選ばれた加賀千晴さんの作品が、今回、第39回全国高等学校総合文化祭(びわこ総文)に出展されます。たいへん名誉なことです。

書道部がこれまでに残してきた作品の数々は、校内にもたくさん飾られているので皆さんも見ていることと思います。特に校長室前に飾ってある3点は、かつて全国大会に出展された作品で、その中央は一昨年度、県知事賞を受賞し、昨年度の県の高等学校書道展のポスターを飾った作品です。どの作品も大作で、実にダイナミックで力強く、躍動感にみなぎっています。校長室を出るたびにその作品を目にしますが、何度見ても新鮮で、そのたびに書からあふれる出るエネルギーが伝わってきます。



第39回全国高等学校総合文化祭出展作品

◆◆体育祭結団式

壮行会に引き続き、体育祭結団式を行いました。赤、青、黄の3色の団長がそれぞれの色の衣装を身に付けてフロアから登場し、ステージ上で抱負を語り、応援団員を募集しました。3名の団長が、個性あふれる言葉で、皆に信頼される応援団の結成と新たな体育祭への思いと決意を熱く語り、今年の体育祭に大いに期待が寄せられます。その後、3名の団長のくじ引きで1年生から3年生までの各クラスが3色に振り分けられました。団長がくじを引くまで各クラスが何色になるかわかりません。団長がくじを引くたびに大きな歓声が起こり、趣向を凝らした色決めで体育館はとても盛り上がりました。

男子バスケットボール部 試合終了5秒前の逆転シュート！

5月17日（日）に慶應義塾高校（日吉キャンパス）で男子バスケットの試合（全国高等学校総合体育大会神奈川県予選Bグループトーナメント）がありました。Bグループ（横浜北・横浜中・横浜南地区）予選の最終戦で、この試合に勝てば県大会出場です。対戦相手は好敵手の慶應義塾高校。会場校でもある慶應側の応援は当然のことながら大人数でしたが、こちらの応援も負けてはいません。試合は予想どおりの接戦。前半35：32で本校がリードし、そのまま第4ピリオドまでリードを続けましたが、最後に追いつかれ62：62の同点となり延長戦へ。延長戦もどちらも譲らず接戦を繰り広げ、終盤、相手チームのシュートが決まり68：69とリードされ、ボールを持った本校チームに残された時間は15秒。しかし、本校チームは決して諦めず、最後の最後まで全力を尽くし、試合終了5秒前に見事なシュートが決まり、70：69で逆転の勝利を収めました。その喜びと選手たちの頑張りに本校応援席も総立ちとなり大きな拍手を送りました。手に汗握る、そして、目頭が熱くなるとても感動的な試合でした。



紺色ユニフォームが本校生徒。



試合の応援に行ってきました

*試合名は略称

- 5月9日（土）：男子バレーボール（関東大会県予選3回戦）
対戦相手は、この大会で優勝した強豪川崎市立橋高校。本校チームは、第1セット17：25、第2セット13：25と敗れはしたものの善戦。この大会決勝戦の市立橋 対 荏田のスコアが25：18、25：14であることを考えれば、決勝戦レベルの戦績でした。
- 5月10日（日）：男子バスケットボール（全国大会県予選Bグループトーナメント1回戦）
対戦相手は県立永谷高校。落ち着いたプレーで118：34で勝利。
- 5月16日（土）：バドミントン（ダブルス）（高校総体県予選）
男子1ペア、女子2ペアが出場。女子1ペアは初戦で名門鶴沼高校との対戦で惜敗。女子のもう1ペアは2回戦（対 希望ヶ丘）、男子ペアは3回戦（対 法政第二）まで勝ち進みました。
- 5月17日（日）：男子バスケットボール（全国大会県予選Bグループトーナメント3回戦）
慶應義塾高校と対戦し、接戦、延長戦の末、70：69で勝利。県大会出場を決めました。
- 5月24日（日）：バドミントン（シングルス）（高校総体県予選）、男子バスケットボール（全国大会県予選1回戦）
バドミントンは女子2名、男子1名が出場。女子は、それぞれ弥栄高校、横浜南陵高校の選手と対戦し惜敗。男子は、1回戦（対 金井）に勝って2回戦（対 立花学園）まで進みました。
男子バスケットボールは、横須賀総合高校と対戦し、54：48で勝ち、2回戦に駒を進めました。次の対戦相手は、横浜商科大高校です。
- 5月31日（日）：女子バスケットボール（全国大会県予選2回戦）
横浜緑ヶ丘高校と対戦し、前半28：27、第3ピリオド43：41と緊迫した試合でしたが、55：50で勝ち、3回戦（ブロック決勝戦）に駒を進めました。次の対戦相手は、前大会3位の相模女子大高等部です。



5/16（土）バドミントン（ダブルス）高校総体県予選 洞庭・根本組（3年）（平塚総合体育館）



5/24（日）バドミントン（シングルス）高校総体県予選 野口選手（3年）（とどろきアリーナ）

市高生
頑張ってます！